



SOSの出し方に関する教育プログラムの公開授業を行います

産官学連携によって開発したいじめ防止対策授業

「どうする!? SOS ～ ホウレンソウ（報告・連絡・相談）教育プログラム」

千葉大学教育学部藤川研究室は、「いじめ」について考え、議論する教材シリーズ「私たちの選択肢」の開発に取り組んでおります。昨年度は、脱いじめ傍観者をテーマとした授業を開発しDVD付き冊子として全国の学校や教育関係者に配布致しました。今回は第二弾として、SOSの出し方教育に関する授業を開発しました。

SOSの出し方に関する教育は、自殺対策基本法第17条第3項に定める「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身につける等のための教育」として推進がなされています。また文部科学省においても、SOSの出し方に関する教育を積極的に（少なくとも年1回）実施するよう推奨するなど、社会的ニーズが高まっています。

そこで今回、柏市教育委員会、敬愛大学国際学部阿部研究室及びストップイットジャパン（株）と連携し、次のとおり教育関係機関・報道機関を対象としたSOSの出し方に関する教育プログラムの公開授業を行います。

1 公開する授業について

(1) 日時

平成30年7月11日（水）午前9時40分～10時30分（2時間目）

(2) 場所

千葉県柏市立田中中学校（柏市大室249-9、岩崎耕児校長）

(3) 対象クラス

2年1組

(4) 授業内容

「私たちの選択肢」と題するオリジナルの映像教材を視聴しながら、生徒たちがいじめやSOSの出し方について考え、議論します。授業のねらいは以下のとおりです。

- ・軽い気持ちで行なった言動によって受け手側に苦痛を与えることがあること
- ・一人で抱え込まず早めに報告・連絡・相談をすることで現状を改善できること
- ・周囲の友達等が悩んでいたときも同様に、適切な相談先に促せるよう声かけをして報告・連絡・相談をする行動がとれるようになること

(5) その他

授業終了後、別室にて取材者向けに、授業に関する説明と質疑応答の時間を設けます。

2 当日の駐車場について

取材者用に駐車場を用意いたしますので、7月10日（火）までにお問い合わせ先までご連絡ください。

3 授業開発等の経緯について

別紙をご参照ください

本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み
千葉大学教育学部附属教員養成開発センター 特別研究員 谷山大三郎
Tel: 050-3754-2219 Mail: info@stopit.co.jp

【別紙】 どうする!? SOS ～ ホウレンソウ（報告・連絡・相談）教育プログラムについて

1 SOSの出し方に関する教育について

- 平成29年7月25日に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱において、社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけるための教育（SOSの出し方に関する教育）の推進が定められた。
- 文部科学省においても、SOSの出し方に関する教育を積極的に（少なくとも年1回）実施するよう推進している。

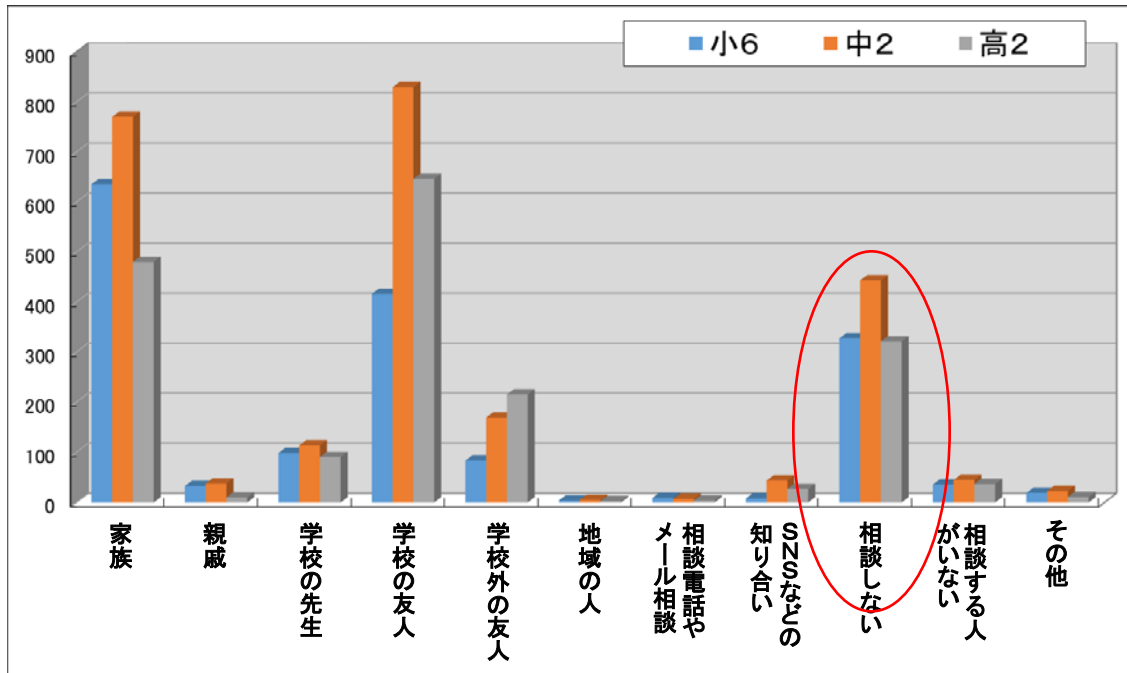
2 ホウレンソウ（報告・連絡・相談）教育プログラムについて

- 「H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査」によると、「悩みを誰に相談するか」の質問に対し、約3割の中学2年生が「相談しない」と回答している。



深刻な事態になる前に、生徒がはやめに適切な相談先へ相談や報告をすることが大切

悩みを誰に相談するか（複数回答可）



H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より
* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名

3 今後の展望

今後も「いじめ」について考え、議論する教材シリーズ「私たちの選択肢」の開発に取り組んでいく予定です。今年度は、昨年度開発した脱いじめ傍観者教育の授業を含め以下の授業を開発し、無償にてDVD付き教材の配布を行う予定です。

エピソード1 変えられる!? クラスの空気 ～ 脱いじめ傍観者教育

エピソード2 どうする!? SOS ～ ホウレンソウ（報告・連絡・相談）教育

エピソード3 自分らしく生きるって? ～ 多様な性を理解する教育 *2018年9月完成予定